

ブルーフローリング試験 オートメーション化への取組

【ブルーフローリング試験とは？】

- 路床や路盤上に荷重車を走行させ、地盤が**変形しない**ことを**目視**にて確認する品質管理試験である
- 地盤変形の見逃し**は、上層に敷設するアスファルト舗装の**早期破損リスク**に繋がる
- 全幅・全延長**が対象であり、複数人の観察者が必要なため、**労力と時間が必要な**試験である

【従来手法】人による目視



【取組手法】3次元カメラによる計測



試験対象 : 1,000m ²	従来手法	取組手法
試験人数 (名)	5	2
試験時間 (分)	42	36
工数 (名・分)	210	72

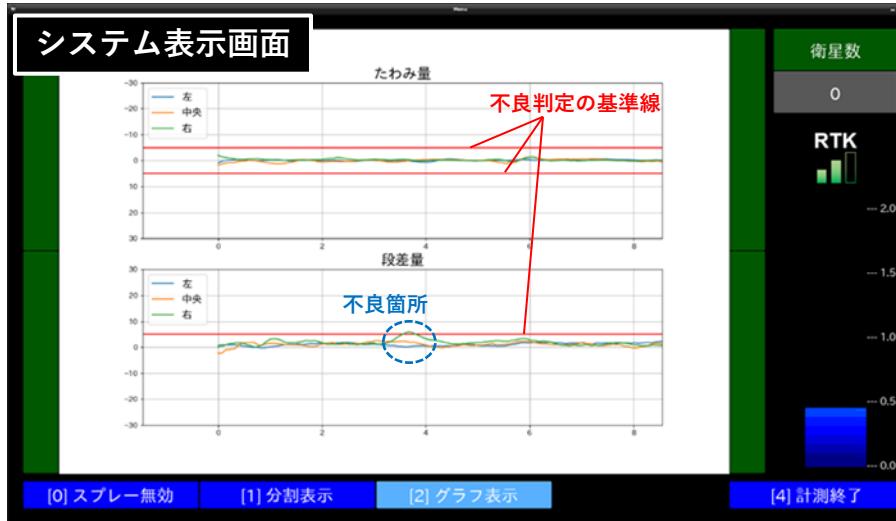


工数を**65%削減**



プルーフローリング試験 オートメーション化への取組

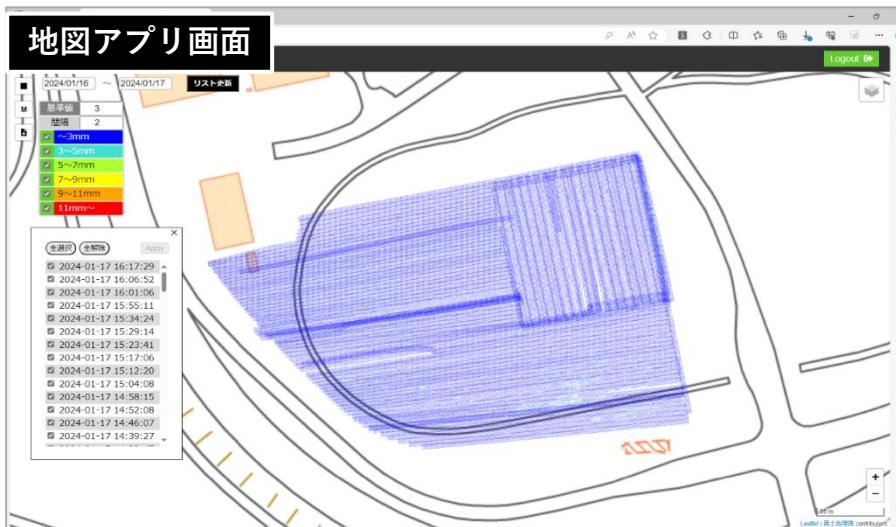
【解析結果の見える化と不良判定】



【不良箇所へは自動マーキング】



(クラウドを用いた遠隔検査)



【報告書の自動作成機能で省力化】



- ・クラウドよりワンクリックで報告書を作成
 - ・遠隔検査時の結果を自動で添付した報告書が出力

事務所作業を大幅に削減